

概要版

北九州市農林水産業振興計画

(平成 28 年度～平成 32 年度)

～女性や若者が誇りを持てる産業と市民から愛される産地を目指して～



平成 28 年 3 月

北九州市産業経済局

I 計画の位置付け

北九州市の基本構想・基本計画である「元気発進!北九州」プランを実現するための分野別計画であり、生産者の高齢化、担い手不足等の課題、国や本市の政策等を反映して、今後の農林水産業の具体的な方向性を示すものである。

II 計画の概要

「元気発進!北九州」プラン

北九州市農林水産業振興計画 (平成23年度～平成27年度)

- ◎農林水産業者の所得向上
- ◎環境首都を実現する農林水産業の振興

－ 引き継ぐ課題 －

- ・生産者の高齢化
- ・担い手不足
- ・生産コスト増・低水準所得
- ・豊かな暮らしへのニーズ増

－ 国の動き －

- 「農林水産業・地域の活力創造プラン」改訂
- 「都市農業振興基本法」制定
- 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

－ 市の動き －

- 「北九州市新成長戦略」
- 「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

北九州市農林水産業振興計画 (平成28年度～平成32年度)

～女性や若者が誇りを持てる産業と市民から愛される産地を目指して～

- 方向性
- I 安定供給の確保に向けて
 - II さらなるビジネスの推進に向けて
 - III 豊かで美しく活力ある地域づくりに向けて

実現

最終目標

- 農林水産業者の所得向上を目指します
- 市民に新鮮で安全・安心な農林水産物を提供します
- 市民や地域から共感される農林水産業を目指します

III 計画の期間

平成28年度～平成32年度(5年間)

IV

3つの方向性、4つの主要施策、これらを支える4つの推進施策

方向性Ⅰ 安定供給の確保に向けて

主要施策1 多様な担い手の育成

- 1 担い手の育成
- 2 女性・若者の活躍支援
- 3 法人化や企業参入の支援

主要施策2 生産環境の整備

- 1 生産基盤の整備
- 2 農地利用の最適化の推進
- 3 豊かな漁場づくり

方向性Ⅱ さらなるビジネスの推進に向けて

主要施策3 ビジネス化の推進

- 1 農林水産物の戦略的生産支援
- 2 6次産業化・農商工連携の推進
- 3 ブランド化の強化
- 4 輸出への取組み支援
- 5 再生可能エネルギーの活用

方向性Ⅲ 豊かで美しく活力ある地域づくりに向けて

主要施策4 多面的機能の発揮

- 1 耕作放棄地対策
- 2 放置竹林・荒廃森林対策
- 3 多面的機能の啓発
- 4 にぎわいの創出と
シビックプライドの醸成

推進施策1 総合農事センターの積極的活用

- 1 総合農事センターの機能強化
- 2 市民への農業に関する情報発信

推進施策3 情報発信と市民とのふれあい

- 1 各種イベントやメディア媒体の活用
- 2 農林水産業と市民とのふれあいの場づくり
- 3 ロボット技術やICT等先端技術の活用

推進施策2 幅広い分野との連携

- 1 北九州都市圏域市町などの連携
- 2 医・福・学等との連携

推進施策4 危機回避機能の発揮

- 1 自然災害に対する防災機能の強化
- 2 有害鳥獣による被害の防止
- 3 家畜疾病・伝染病の予防
- 4 赤潮・油流出等の被害の軽減

計画達成のための指標

成果指標			活動指標		
項目	現状 平成27年度	目標 平成32年度	項目	現状 平成27年度	目標 平成32年度
新たな担い手の増加数(農業)	5件	40件	女性農業者の男女共同参画(経営)の推進	67件	80件
新たな担い手増加数(水産)	0人	20人	女性農業委員数	0%	30.0%
担い手への農地集積面積	285ha	335ha	6次化グループの女性従事者数	24人	48人
年間漁獲量	4,069t	4,300t	女性対象研修会開催数	6回	12回
本市所得目標を達成した認定農業者等の割合	25.0%	30.0%	新規ほ場整備面積	0.0ha	7.0ha
ブランド化・6次産業化・朝市・直販所所得合計	372百万円	456百万円	学校給食への地元産納入品目数	25品目	30品目
市内直販所の総売上	15.4億円	16.0億円	市営林の木材の市場出荷量	0㎡	1,000㎡
飲食店サポーター件数	217件	250件	竹材の活用量	0t	1,500t
			商談会(B to B)出展社延べ数	7社	50社
			市内産農林水産物の輸出品目数	1品目	5品目

V

具体的な取組み

方向性Ⅰ 安定供給の確保に向けて

◎主要施策 1 多様な担い手の育成

1 担い手の育成

- 認定農業者の確保と経営目標達成に向けた経営診断等の実施、施設整備等の支援
- 新規就農者の確保に向けた受入窓口整備や研修等の実施
- 経営感覚に優れた漁業者育成のための漁業経営の実践を学ぶ勉強会等の開催
- 漁業への新規就業者の確保に向けた産地見学会や操業体験プログラム等の実施

新規就農者育成研修



2 女性・若者の活躍支援

- 農家研修、農地取得、生活支援等をパッケージ化した就農支援制度の検討
- 農協や漁協への理事就任の働きかけや農業委員への選任等の推進
- 農林水産業全体でのネットワーク化の推進

3 法人化や企業参入の支援

- 適宜必要な人材を確保できる雇用方法の検討
- 相談窓口の明確化、参入条件や農地貸借等の情報提供、融資等の支援の実施

◎主要施策 2 生産環境の整備

1 生産基盤の整備

- 農業生産基盤整備、林道整備、漁港整備は重点整備地域を定めて実施
- 平成 32 年度までに策定する農林業施設の「長寿命化修繕計画」と、漁港施設の「機能保全計画」に基づく対策の実施
- 遊休化した農業用施設の他用途転換や売却等の推進

小倉南区高野地区の基盤整備

基盤整備前



基盤整備後(予定)

2 農地利用の最適化の推進

- 「人・農地プラン」や「農地中間管理事業」等を活用した担い手等への農地集積の推進

3 豊かな漁場づくり

- 鉄鋼スラグ人工石や核藻場礁などの新技術を活用した魚礁や藻場の整備
- 本市沿岸環境等に適した新たな放流種苗の検討など種苗放流事業の強化
- カキの養殖環境の維持・改善とアワビ・トラフグ等の陸上養殖事業の支援

方向性Ⅱ さらなるビジネスの推進に向けて

◎主要施策3 ビジネス化の推進

1 農林水産物の戦略的生産支援

- 学校給食用農林水産物の計画的な生産・出荷の推進、採用品目の拡大及び供給力の強化を支援
- 市営林の主伐・間伐による売払い収入の増加と林業生産活動の活性化
- 産業用素材としての竹材のビジネスモデル構築の推進
- 小倉牛の生産コスト削減等による安定した経営基盤づくりの支援

市営林材の売払い



竹材活用の
ビジネスモデル化



2 6次産業化・農商工連携の推進

- 総合農事センターを活用した研修会や意見交換会を開催し、新分野進出を目指す農林業者を支援
- 水産業における高鮮度保持技術などの新技術等の支援
- 6次産業化・農商工連携等に積極的な市内生産者等が行う、新商品の試験的な展示・販売等の支援

3 ブランド化の強化

- 「若松トマト」「サワラ」など、付加価値や高単価が見込める品目のブランド化支援
- 「ブロッコリー」「小倉牛」「豊前海一粒かき」などの市域を越えた生産・販売体制の構築によるブランド力強化

ブロッコリー



豊前海一粒かき



若松トマト



小倉牛

4 輸出への取組み支援

- 「若松小玉スイカ」など有望品目の試験輸出による輸出可能性の検証
- GAPやHACCP、ハラール認証など輸出相手国のニーズ把握

5 再生可能エネルギーの活用

- 再生エネルギー活用についての情報収集と木材や家畜排泄物等のバイオマスエネルギーの活用検討
- 洋上風力発電施設の増殖場利用や安価な電力利用など漁業への活用検討

方向性Ⅲ 豊かで美しく活力ある地域づくりに向けて

◎主要施策 4 多面的機能の発揮

1 耕作放棄地対策

- 「人・農地プラン」や「農地中間管理事業」の活用による耕作放棄地の発生予防と「耕作放棄地再生事業」による再生・有効利用の実施
- 新設される「農地利用最適化推進委員」と連携した耕作放棄地の発生防止・解消活動の実施

耕作放棄地での
焼酎用芋の栽培製品化された
芋焼酎

2 放置竹林・荒廃森林対策

- 竹材の産業用素材としての事業化をすすめ、竹材が資源として活用される循環システムの構築を推進
- 県森林環境税を活用した荒廃人工林の間伐や侵入竹の除伐、作業道整備の実施

放置竹林の解消作業



管理された市営林



3 多面的機能の啓発

- 産地見学会やイベントの開催、農業体験学習による市民への啓発活動の実施
- 朝市の開催、藻場や干潟の環境保全活動、魚食文化の普及等を通じた市民、漁業者、企業等との協働活動推進による「里海づくり」の強化

小学生の農作業体験
(田植え)

藻場造成



4 にぎわいの創出とシビックプライドの醸成

- 「農林水産まつり」等、本市産品をテーマにした各種イベントの開催による「食」のにぎわい創出
- 市内各所に伝わる地域の食文化や伝統料理の未来への継承活動の実施
- NPOやボランティア団体が実施する環境保全活動支援を通じたシビックプライドの醸成

主要施策を支える仕組み

○推進施策 1 総合農事センターの積極的活用

- 1 総合農事センターの機能強化
○6次産業化の支援、新規就農研修の実施、畜産の振興等
- 2 市民への農業に関する情報発信
○農業体験プログラム、朝市等の開催



市内産の梅を使用した
6次産業化商品

○推進施策 2 幅広い分野との連携

- 1 北九州都市圏域市町などとの連携
○広域ブランドの創出等
- 2 医・福・学等との連携
○園芸リハビリ活動の支援、竹のプラスチック素材等への商品化



障がい者の農作業体験

○推進施策 3 情報発信と市民とのふれあい

- 1 各種イベントやメディア媒体の活用
○農林水産まつり等地産地消イベントの実施
ホームページや各種メディアの活用等
- 2 農林水産業と市民とのふれあいの場づくり
○観光化支援、直売所等
- 3 ロボット技術やICT等先端技術の活用
○鳥獣被害対策、省力化等



柄杓田漁港の朝市

○推進施策 4 危機回避機能の発揮

- 1 自然災害に対する防災機能の強化
○減災対策、防災協力農地等検討
- 2 有害鳥獣による被害の防止
○市街地被害対策、シカ・アライグマ等対応
- 3 家畜疾病・伝染病の予防
○家畜疾病等予防、発生時対応
- 4 赤潮、油流出等の被害の軽減
○国・県との連携、風評被害対策



赤潮調査

地元を食べよう!北九州

地元いちばん

発行日 平成 28 年 3 月
発行者 北九州市産業経済局農林水産部農林課
北九州市小倉北区域内 1 番 1 号
TEL093-582-2078 FAX093-583-0594